年　月　日／　学校　年　組　番　なまえ

2022年4月17日付

# 地域の自然 魅力体感

## 県北ロングトレイル

## 常陸太田7.6キロ 絶景楽しみ「歩き初め」

県が整備を進めている県北地域６市町の里山や観光地をハイキング道などでつなぐ「茨城県北ロングトレイル」で、2021年度に開通した中央部エリア約39キロのうち、常陸太田市内の7.6キロのコースで10日、「歩き初め」が行われた。ハイライトとなる区間で、参加者は絶景を楽しみながら県北地域の自然の魅力を体感していた。

自然を楽しみながら歩く参加者たち＝常陸太田市内

同ロングトレイルは、日立、常陸太田、高萩、北茨城、常陸大宮、大子の6市町の観光・交流を核とした地域づくりを促進するため、点在する地域資源を一体的につなぐコース設定に取り組む。先行開通している大子町内の14キロ区間につながり、計53キロが開通した。計画では全長320キロの整備を予定している。

新規開通区間の歩き初めには、6歳から72歳の一般参加者29人とガイドスタッフ9人などが参加。出発前に、県県北振興局の菊池睦弥局長が「ロングにふさわしいコースが開通した。魅力的なコースで、花々が美しい地域。コロナ禍だが、ロングトレイルをきっかけに県北の観光、グルメ、温泉などを楽しんでほしい」とアピール。コース設定などを担当するアウトドア専門店「ナムチェバザール」（水戸市）の和田幾久郎社長は「トレッキングの好きな人や地元の人たちとの交流が生まれ、新しいトレイル文化ができて、アウトドアや自然の好きな人が集うエリアになればと取り組んでいる」とあいさつし、コースなどについて説明した。

歩き初めは常陸太田市天下野町の竜神峡第2駐車場に集合し、眺めを楽しみながら竜神峡赤岩展望台、おかめ山、荷鞍山、鷹取場などのコースを約4時間半をかけて歩いた。

水戸市元吉田町の高校2年生、袴塚空さん(16)は「山登りが好きで参加した。天気にも恵まれたので絶景を楽しみたい」と期待。同市渡里町の久賀谷理恵さん(45)は次男の琉也さん(14)を誘って親子で参加。琉也さんは「一緒に歩けば楽しいかなと思って参加した。これからも機会があれば一緒に歩きたい」と照れくさそう。理恵さんは「普段の生活では分からない地元の良さを知ることができるのが魅力。自然の楽しさに気付いてもらえれば」と一緒に新しいコースを楽しんだ。（飯田勉）

**【問1】** 県北ロングトレイルの舞台となる6市町とは、どこですか？

**【問2】** 昨年度開通したエリアで常陸太田市7.6キロコースの「歩き初め」に参加した人たちは、どんな場所を歩き、どんな感想を話していましたか？

**【問3】** 計画では、全長何キロのコースが整備される予定ですか？

読めない文字は、かぞくや、ともだちにきいてみてね

©茨城新聞社　教育目的以外の無断転載、複製および頒布は禁止します。